

# 豊島区における メディカルケアステーションの 利活用について

# 2

～医療介護検索システムの連動とMCSアプリ～

豊島区医師会理事

土屋 淳郎

# はじめに

H27-1/31 第27回医療とITシンポジウム

## 豊島区における今後の取り組み(私見)

①在宅

小地区の  
医介連携

—— 連携を広める ——>

行政、地域・商店街などに広める  
隣接地域に範囲を広める

②在宅

③在宅

ICT活用  
講習会

—— 使い方を広める ——>

区職員、住民  
医介連携希望者・施設(新規～応用)

④在宅

⑤在宅

学会発表  
メディア

—— 活動を広める ——>

学会・研究会  
区の広報活動  
メディア(としまケーブルテレビなど)

⑥在宅

⑦在宅

アプリ  
開発

—— システムを広げる ——>

既存システムとの連動  
アプリ開発  
高齢者見守りシステム

⑧勇美

⑨医歯

⑩在宅



メディカルケアステーションを用いた  
地域包括ケアシステムの構築を目指す

豊島区におかれましては

多職

乳用系  
サービス

医療/介護系  
サービス

専用系  
サービス

多職

「Me

おけ

# 医介連携におけるさまざまなコミュニケーション



## 電話

- スピーディー(状況次第)
- △1:1の伝達
- ×記録が残りにくい
- ×通じない、気遣い

## カンファ・担当者会議

- 大人数に伝達
- 記録の集結
- ×集まる場所と時間があわない

## FAXや書類

- 記録を残しやすい
- △1:1の伝達
- ×一方通行になりやすい

## 連絡ノート

- 記録の集結
- 患者・家族も参加
- 大人数に伝達
- ×患者宅に行かないとわからない

## メール・メーリングリスト・一般的なSNS

- 大人数に伝達は可能
- 記録を残しやすい
- △スピーディーさは電話より劣るが時間を気にせず連絡可
- △患者・家族参加に工夫が必要
- ×電子媒体になり情報漏洩など情報管理に大きな問題が生じる



医療介護専用SNS  
多職種連携システム

# 医療介護専用SNS

## 「メディカルケアステーション」とは

- 「厚生労働省の鈴木康裕審議官(現医務技監)は情報共有を円滑にするツールのひとつの例として**完全非公開型医療介護専用SNSメディカルケアステーション(MCS)**を紹介し…(日本在宅薬剤学会、2015)」
- 「医介連携にSNSを利用する場合には…栃木県が採用しているような、**非公開型かつ医介連携専用のプライベートSNS(=MCS)**を利用すること」(日医医療IT委員会、2016)
- 東京都在宅療養基盤整備事業(多職種ネットワーク構築事業)実施51医師会のうち30医師会で**MCS**を導入(2018)
- 現在、全国の200以上の医師会で**MCS**を採用

|          | 行政  | 医師会  |
|----------|---|--|
| S<br>H25 | 1. 在宅医療連携推進会議(H22年～)<br>2. 在宅医療コーディネーター研修(H22年～)<br>4. 豊島区在宅医療相談窓口(H22年～)<br>3. 在宅医療地域資源マップ作製(H24年)                                       | 5. 在宅難病患者訪問診療事業(都)<br>6. 在宅医等相互支援体制構築事業<br>①資源データベース構築(H24年)<br>7. 在支診/病院グループの作成<br>5. ①調整委員会(H25年3月)<br>・ICT活用の提案<br>12. 在宅ICT検討会発足(H25年4月～)<br>5. ②難病症例でのMCS試用開始(H25年5月～)<br>6. ②在支診サポートアプリ(H25年)<br>8. 勇美記念財団助成事業<br>・後方病床確保を目的に入院リクエストアプリ作成<br>10. 講習会等<br>①ICT講習会(H25年9月)<br>・MCSを用いたハンズオンセミナー<br>②在宅医療講習会(H25年10月)<br>・MCSの説明会 |
|          | 1. ①ICT連携についての報告(H25年11月)<br>・参加者に対してICT連携のミニレクチャー  |  |
| H26      | 1. ②交流会(3月)<br>・ICT連携の講習会<br>・事例検討会をハンズオンセミナーとして開催<br>2. ①上級編受講生勉強会(12月)<br>・ICTを用いた連携についての勉強会  | 9. MCS医師会特別アカウント契約(8月)<br>・豊島区歯科医師会薬剤師会も契約<br>10. ③在宅推進講習会 & PC講習会(11月)<br>・MCSを用いたハンズオンセミナー   |
| H27      | 10. ④豊島区ICT活用学習会(1月)<br>・区職員対象にICTの利用について学習<br>1. ③ICT部会創設(1月～)<br>・ICTの連携について行政含め検討する<br>2. ②在宅医療コーディネーター研修会(2月)<br>・プログラムの一つとしてICT連携を説明 | 他. 都医ITシンポでの報告(1月)<br>・演題「豊島区におけるMCSの利活用」<br>他. 豊島区訪問看護連絡会での講演(8月)<br>・ICT連携に関する勉強会の講師<br>12. 在宅ICT検討会→としま医介連へ(7月～)<br>11. 東京都在宅療養基盤整備事業(H27年4月～30年3月)<br>①ICTの導入に際して必要な事項の検討  |

# 東京都在宅療養推進基盤整備事業 (多職種ネットワーク構築事業)



## 目的：

- ・地域包括ケアシステムにおける在宅療養について都民の理解を深める
  - ・医療と介護が連携し、ICTネットワークの活用等により効果的に情報を共有
  - ・在宅療養患者を支える体制を構築するための取組を促進
  - ・多職種の連携体制の強化を図る
- 地域における在宅療養推進基盤の整備

## 実施内容：

医療と介護の関係者が、ICTを活用し効果的に情報を共有しながら、連携して在宅療養患者を支えるネットワーク体制を構築

- (1) ICTの導入に際して必要な事項の検討及び導入・拡充に係る方策の検討
- (2) ICTを活用した多職種連携体制の構築
- (3) 多職種ネットワーク構築事業に係る事業周知

\* 検討会委員として各自治体職員を会議に含める等、行政との協力体制のもとで実施してください。

\* 関係多職種による連絡会を開催する等、顔の見える関係の構築も同時に行ってください。

# 多職種ネットワーク構築事業における 豊島区医師会の取り組み

- (1) ICTの導入に際して必要な事項の検討
- (2) ICTシステムの導入・拡充
- (3) ICTを活用した多職種連携体制の構築  
顔の見える関係の構築  
行政との協力体制
- (4) 多職種ネットワーク構築事業に係る事業周知

# (1) ICTの導入に際して必要な事項の検討



## 豊島区医師会多職種ネットワーク規則・規定等

- I. 豊島区医師会多職種連携ネットワーク運用管理規則
- II. 豊島区医師会多職種連携ネットワークにおける個人情報保護のための協定書  
豊島区医師会多職種連携ネットワークにおける個人情報保護のための協定書の規定
- III. 業務情報保持に関する誓約書
- IV. 豊島区医師会多職種連携ネットワーク利用における個人情報使用同意書

# (2) ICTシステム拡充

## MCSポータルサイト・ 医療介護検索システム

## 地域統計情報

豊島区医師会多職種連携ネットワーク事務局 2016/06/01 12:16 (豊島区医師会)

「豊島区医師会多職種連携ネットワーク」ポータルサイトがオープンしました。  
地域包括ケアシステム構築に向けて在宅医療や医療と介護の連携が重要になってきている中で、このポータルサイトが地域の皆様にお役に立てれば幸いです。  
今後、ポータルサイトでは様々な案内や通知を行うとともに、検索の充実、連携の強化もすすめていく予定です。

豊島区医師会多職種連携ネットワーク事務局 2016/06/01 12:16 (豊島区医師会)

「豊島区医師会多職種連携ネットワーク」ポータルサイトがオープンしました。  
地域包括ケアシステム構築に向けて在宅医療や医療と介護の連携が重要になってきている中で、このポータルサイトが地域の皆様にお役に立てれば幸いです。  
今後、ポータルサイトでは様々な案内や通知を行うとともに、検索の充実、連携の強化もすすめていく予定です。

施設の種類

- 医師
- 歯科医師
- 看護師
- 准看護師
- 薬剤師
- 臨床検査技師
- 診療放射線技師
- 臨床工学技士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 管理栄養士
- 栄養士
- 言語聴覚士
- 視能訓練士
- 義肢装具士
- 歯科衛生士
- 保健師
- 助産師

豊島区医師会

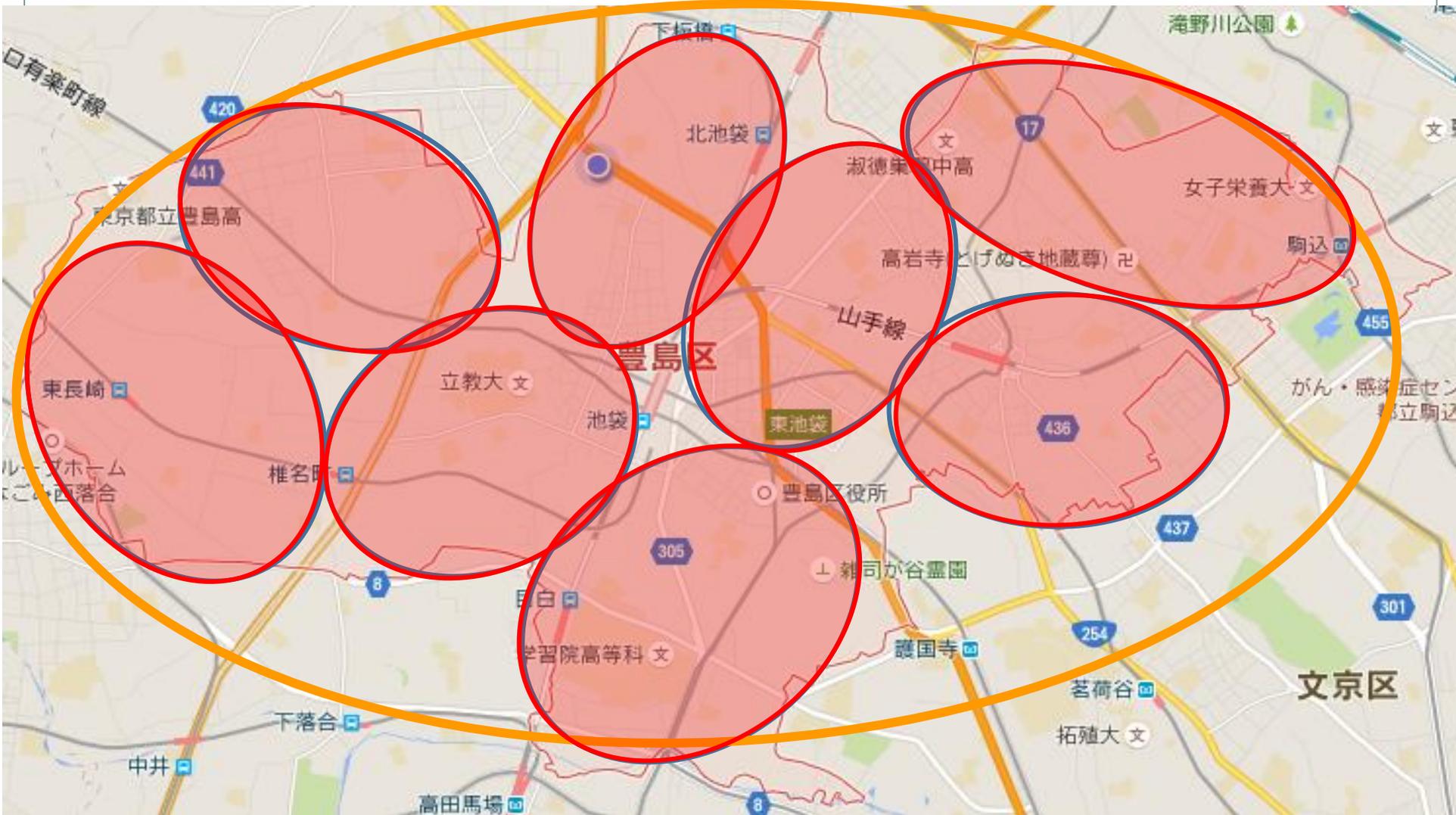
地域統計情報

- 月別統計
- 月間UU
- 施設種別
- 専門家種別
- ログアウト

地域統計情報

| ユーザ総数 (先月末)   | 投稿総数 (先月末)     | 患者総数 (先月末)  |
|---------------|----------------|-------------|
| すべて           | すべて            | 患者グループ総数    |
| 660 (625)     | 89663 (86170)  | 915 (860)   |
| 医療介護職         | 医療介護職          | 本人未参加       |
| 577 (567)     | 87854 (84424)  | 856 (826)   |
| 一般            | 一般             | 本人参加済       |
| 83 (58)       | 1809 (1746)    | 59 (34)     |
| 施設総数 (先月末)    | 自由グループ総数 (先月末) |             |
| 医療介護関連施設      | 自由グループ         |             |
| 317 (313)     | 297 (290)      |             |
| ログイン MAU (先月) | 投稿 MAU (先月)    | 了解 MAU (先月) |
| すべて           | すべて            | すべて         |
| 422 (431)     | 255 (278)      | 271 (275)   |
| 医療介護職         | 医療介護職          | 医療介護職       |
| 381 (414)     | 245 (269)      | 262 (267)   |
| 一般            | 一般             | 一般          |
| 41 (17)       | 10 (9)         | 9 (8)       |

### (3) ICTを活用した多職種連携体制の構築



○8包括ごとに「顔の見える連携」をより密にする

# 豊島区におけるMCSを利活用した多職種連携

地域包括ケアシステム構築に向けての取り組み

拠点病院  
(大学/都立病院)

患者・家族  
一般区民

- ・在宅患者を取り巻く環境作り
- ・顔の見える連携で基盤整備
- ・MCSを利活用した連携の輪

## 豊島区医師会

在宅難病患者訪問診療事業  
在宅医相互支援体制構築事業  
→ 在支診カンファサポートアプリ  
勇美記念財団による助成事業  
→ 連携リクエストアプリ  
在宅推進講習会、PC講習会  
多職種ネットワーク構築事業  
→ 運用規定、在宅資源マップ、  
資源データベース、広報  
MCS利用契約

後方支援病院  
(バックアップベッド)

豊島区健康診査センター

MCS利用契約  
あぜりあ歯科連携窓口

## 豊島区歯科医師会

在宅医療  
相談窓口

在宅医療地域資源  
データベース

在宅支援  
診療所

在宅支援  
病院など

在宅  
主治医

支援病院  
診療所等

あぜりあ  
訪問歯科  
連携窓口

在宅訪問  
歯科診療

訪問看護  
ステーション

訪問  
看護

患者

包括支援  
センター

居宅介護  
支援事業所

ケア  
マネ

訪問リハ

訪問リハ

介護従事者

訪問薬局

在宅服薬  
支援薬局

介護事業者  
情報検索  
システム

介護施設  
介護サービス

コーディネーター

保健所  
行政サービス

池袋  
あうる  
薬局

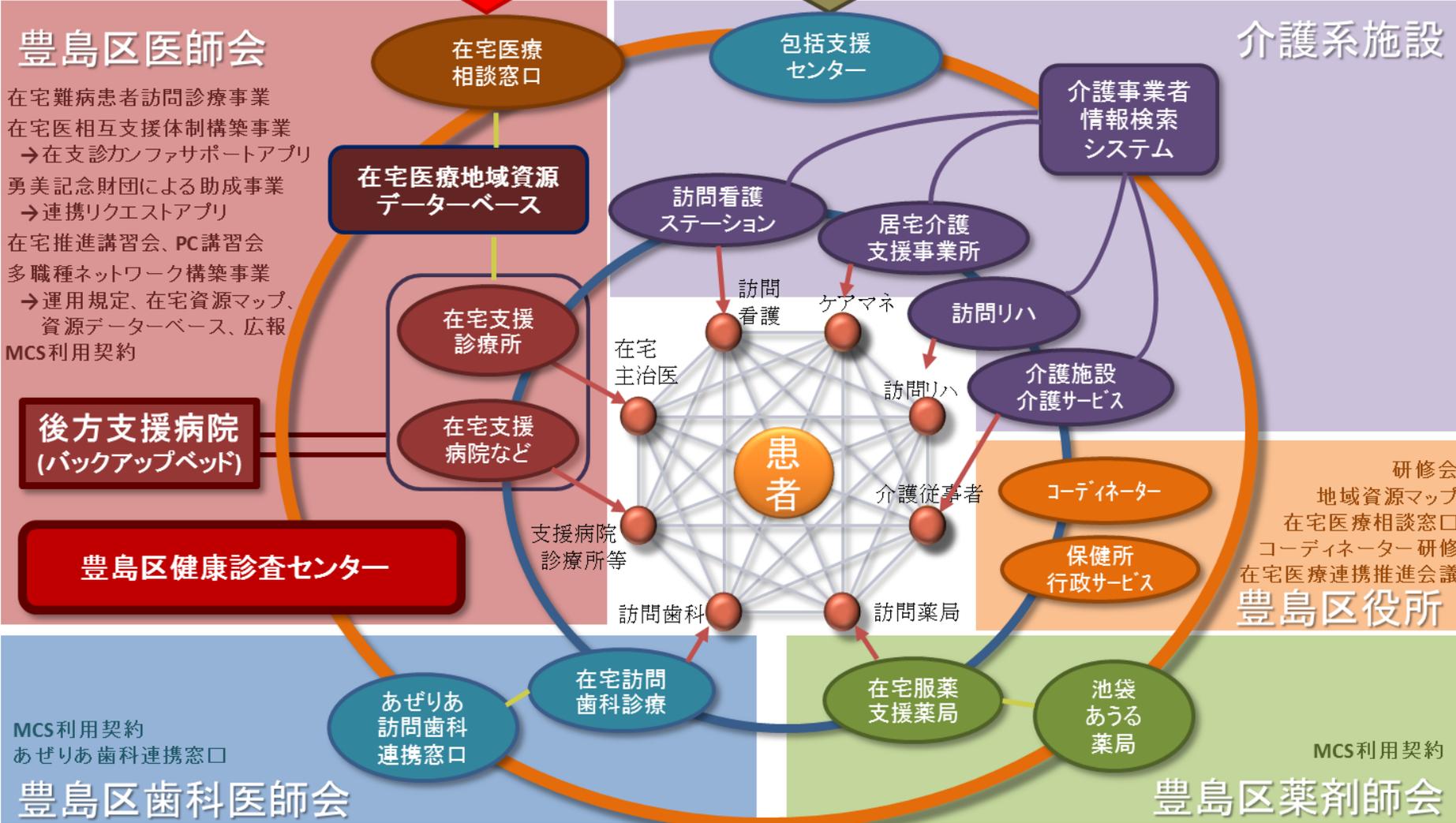
## 介護系施設

研修会  
地域資源マップ  
在宅医療相談窓口  
コーディネーター研修  
在宅医療連携推進会議

## 豊島区役所

MCS利用契約

## 豊島区薬剤師会



# (4) 多職種ネットワーク構築事業に係る事業周知

## 豊島区医師会多職種連携ネットワーク

豊島区医師会では専用のネットワークシステムを用いた「多職種連携ネットワーク」を構築しております。在宅医療に関わる多職種が速やかに正確な情報共有を行うことで、在宅医療の質を高めています。

→多職種連携ネットワーク紹介ビデオ(約20分)

### 多職種連携のネットワークづくり



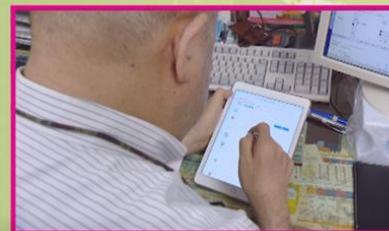
公益社団法人 豊島区医師会では、地域で安心して在宅医療を受けられるように、在宅医療に関する医療・看護・介護の専門職との連携づくり、人材育成、区民への普及啓発、在宅医療相談窓口の設置とネットワークづくりなど、総合的な仕組みづくりを進めています。

HOME

←トップページに戻る

豊島区医師会 在宅医療

検索



# (5) その他・・・事例検討会



## 平成28年度 多職種連携事例検討会/システム説明会のご案内

豊島区医師会地域医療部

- 1.日 時 平成29年3月27日(月) 午後
- 2.場 所 豊島区医師会4階講堂
- 3.内 容
- 第1部 事例検討会
- ①「関連する全職種がタイムラインを介して連携する介護の関
  - ②「訪問看護師がタイムラインを介して連携する葵の空訪問看護ステーション
  - ③「歯科相談窓口を介した連携事例あぜりあ歯科診療所
  - ④「病院看護師・医師との連携事例本町訪問看護ステーション
  - ⑤「患者本人がタイムラインに参加する土屋医院
- 第2部 ICTシステム説明会  
「メディカルケアステーション」株式会社日本エンブレース

## 平成29年度 多職種連携事例検討会/全体会のご案内

豊島区医師会地域医療部

- 記
- 1.日 時 平成30年3月9日(金) 午後7時30分～
- 2.場 所 豊島区医師会4階講堂
- 3.内 容
- 第1部 事例検討会「〇〇からみた多職種連携」
- 座長 豊島区医師会 土屋 淳郎
  - コメンテーター 本町訪看ステーション 村崎 佳代子
  - ①「介護福祉士からみた多職種連携」  
マルシモホームヘルプサービス 小堀 剛史
  - ②「福祉用具専門相談員からみた多職種連携」  
共創未来メディカルケア株式会社 栗原 俊介
  - ③「理学療法士からみた多職種連携」  
ふくろう訪問看護ステーション 新井田 龍一
  - ④「薬剤師からみた多職種連携」  
北池薬局 江村 公良
- 第2部 多職種連携全体会
- ①「多職種連携アンケートの報告」  
豊島区在宅医療相談窓口 中辻 康博
  - ②「多職種ネットワーク構築事業の今までとこれから」  
豊島区医師会 土屋 淳郎

# 在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の中核的医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

## ○事業項目と取組例

### （ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



### （エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

### （キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



### （イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

### （オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

### （ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

### （カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

### （ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

**【主な取組内容】**

地域において医療や介護、予防、住まい、生活支援サービスなどが総合的・包括的に提供される支援体制の整備を進めていきます。

**施策3-1-2 総合的・包括的なケア基盤の充実【重点施策】**  
**在宅医療と介護の連携推進**

三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）や病院、介護事業者、高齢者総合相談センター等多職種で構成される在宅医療連携推進会議を定期的を開催するほか、ICTの活用により、医師をはじめとする多職種のスタッフがリアルタイムで患者の状況や医療データ等について情報共有できる体制構築に向けた検討を進めます。

区内における特別養護老人ホーム等の建設用地確保が困難であることから、区外における特別養護老人ホームの整備に向けた実務的な調査・検討を進めていきます。検討にあたっては、姉妹都市である秩父市と連携したCCRC<sup>\*2</sup>構想と絡め、連携共有型の地域包括ケアシステムの構築を視野に入れていきます。なお、区内においても、地域密着型サービスである小規模の特別養護老人ホームの整備等を検討していきます。

# 豊島区在宅医療 地域資源マップ



豊島区

○在宅医療地域資源マップ

豊島区 TOSHIMAKU 在宅医療・介護事業者情報検索システム

トップ 医療機関・薬局検索 介護相談 事業者検索 地図検索 空き情報検索

介護保険TOP頁へ

 医療機関・薬局を探したい方 →

 介護について聞きたい・相談したい方 →

 ケアマネジャーを探したい・ケアプランを作成してもらいたい方 →

介護事業者・情報・サービス検索

 サービス内容や事業者名から探す

 場所や地域の近い所から探す

 空き情報・事業者の受け入れ状況から探す

介護サービス事業者やケアマネジャーに役立つ情報など便利に使える「介護サービス事業者専用検索」入口です。※介護サービス事業者番号検索機能付(プロ仕様)

● 介護サービス事業者専用検索

○介護業者情報検索システム

- ・更新に伴い医療資源情報やメニューの追加
- ・MCSとの連動

MCS利用事業所は **M** アイコンが表示され **M** を押すとMCS施設紹介ページにリンク

トップ 医療機関・薬局検索 介護相談 事業者検索 地域検索 空き情報検索

訪問看護

事業者名をクリックすると、詳細が表示されます。【表示されるマークのご説明】

サービス検索

サービスを変更できます。

訪問看護

地図上のポイントを変更すると、その場所の情報に変わります。(地図上のリンクには多少のズレがあります。)

全12件 次のページ 簡易表示

| 事業者番号/<br>郵便番号               | 事業者名/所在地   | 電話番号/<br>FAX番号               | サービス詳細 |
|------------------------------|--|------------------------------|--------|
| 1<br>1367185464<br>〒170-0011 | (医社)東区田村会 北池訪問看護ステーション<br>東京都豊島区池袋本町1-45-16      | 03-5396-1105<br>03-5396-1106 | 訪問看護   |
| 2<br>1361690140<br>〒170-0011 | 健運館 訪問看護ステーション<br>東京都豊島区池袋本町3-17-2               | 03-5962-0877<br>03-5962-0887 | 訪問看護   |
| 3<br>1367193188<br>〒170-0011 | (医社)重光会 本町訪問看護ステーション<br>東京都豊島区池袋本町3-22-5         | 03-3985-7982<br>03-3985-7982 | 訪問看護   |
| 4<br>1361690165<br>〒170-0013 | 東池袋訪問看護リハビリステーション<br>東京都豊島区東池袋1-44-8(パークサイドビル5E) | 03-5904-8088<br>03-5955-4477 | 訪問看護   |
| 5<br>1367191216<br>〒171-0021 | 豊島区訪問看護ステーション<br>東京都豊島区西池袋3-22-16豊島区医師会館2階       | 03-5381-0441<br>03-5381-0473 | 訪問看護   |
| 6<br>1361690116<br>〒171-0021 | ガイアリハビリ訪問看護ステーション 池袋<br>東京都豊島区西池袋3-33-6S+ビル2階    | 03-5985-4451<br>03-5985-4452 | 訪問看護   |
| 7<br>1361780106<br>〒114-0023 | 多幸会訪問看護ステーション<br>東京都北区滝野川7-7-1                   | 03-5972-4766<br>03-5972-4935 | 訪問看護   |
| 8<br>1367197892<br>〒173-0034 | (非営)訪問看護ステーション菜の花<br>東京都板橋区幸町21-1-0              | 03-5817-0717<br>03-5817-0716 | 訪問看護   |

野崎クリニック

野崎 英樹

野崎 英樹  
看護師

野崎 英樹  
医師

野崎 英樹  
看護師、医療ソーシャルワーカー

野崎 未歩  
看護師

診療科  
内科、外科、精神科、婦人科、心療内科

住所  
〒135-0048  
東京都東京都東京1-1-11

電話番号  
03-1234-5678

診療時間  
月～金 午前 9:30～12:30 午後 15:00～19:30 休診日:日・祝

ホームページ  
ホームページはこちら

スタッフ

ここから  
MCSの  
連携が  
始まる!

同一の検索システムを利用していると隣接区の事業所も検索で表示される  
⇒区境をこえる連携が実現する可能性

# 地域統計情報

M

豊島区医師会

## 地域統計情報

月別統計

月間UU

施設種別

専門家種別

ログアウト

## 地域統計情報

ユーザ総数 (先月末)

すべて

781 (780)

医療介護職

658 (657)

一般

123 (123)

施設総数 (先

医療介護関連

357 (356)

ログイン MA

すべて

333 (454)

医療介護職

319 (429)

一般

14 (25)

投稿総数 (先月末)

すべて

118072 (117604)

医療介護職

115430 (114983)

一般

患者総数 (先月末)

患者グループ総数

1019 (1015)

本人未参加

929 (925)

本人参加済

## ○豊島区内の利用状況(H30年3月1日現在)

- 全ユーザー 780(+20~30/月)
- 施設総数 356(+ 5~10/月)
- 総投稿数 117,604(+ 4500/月)
- 患者グループ<sup>o</sup> 1,015(+40~50/月)

○MAU(1か月中に利用したユーザー)が  
70%を超える月もある

測定値はゲートウェイを介してサーバへ患者状態やコメント等を記載し「確定」でMCSの患者タイムラインに自動書き込み診療記録書の印刷も可

### バイタルデータ



血圧



体温



SpO<sub>2</sub>



体重

※対応機器はお問合せください

NFC Bluetooth



LAVITA<sup>®</sup> サーバ

LAVITA<sup>®</sup> TOP

2020年12月

| 日     | 月     | 火     | 水     | 木     | 金     | 土     | 日     |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 12/31 | 12/30 | 12/29 | 12/28 | 12/27 | 12/26 | 12/25 | 12/24 |
| 12/23 | 12/22 | 12/21 | 12/20 | 12/19 | 12/18 | 12/17 | 12/16 |
| 12/15 | 12/14 | 12/13 | 12/12 | 12/11 | 12/10 | 12/9  | 12/8  |
| 12/7  | 12/6  | 12/5  | 12/4  | 12/3  | 12/2  | 12/1  | 11/30 |

患者一覧

99歳 男性 グループホームこやでん 認知症、要介護4

77歳 男性 すこやかホーム 認知症、要介護3

65歳 女性 自宅 認知症、要介護-

68歳 女性 グループホームこやでん 心疾患、要介護-

97歳 男性 自宅 要介護-

LAVITA<sup>®</sup> TOP > 患者画面 > 訪問メモ

訪問メモ

氏名 光電太郎 様 生年月日 昭和11年12月1日 (80歳0ヶ月)

要介護 要介護4 保険 医療保険 訪問日時

バイタルの集積

|               |                  |             |                  |             |
|---------------|------------------|-------------|------------------|-------------|
| 体温            | 血圧               | 脈拍          | SpO <sub>2</sub> | 体重          |
| 36.5<br>11:45 | 150/110<br>11:48 | 85<br>11:50 | 95<br>11:50      | 45<br>10/25 |

訪問理由 定期 緊急 発行日

情報ラベル 無し 変更 次回訪問予定

患者様の状態 定義文 過去参照 表示部へ投稿する 残り1000文字

看護・リハビリテーションの内容 定義文 過去参照 表示部へ投稿する 残り1000文字

特記事項・共有事項・コメント等 定義文 過去参照 表示部へ投稿する 残り1000文字

画像 ファイルを選択 コメント 残り1000文字

画像が選択されていません

戻る 一時保存 確定

テスト 太郎: 糖尿病

テスト 太郎 糖尿病

医療・介護例 患者例 +

2人

メッセージを入力して下さい

土屋 淳郎 医師 (医療法人社団創成会 土屋医院) 2/28 15:18

2/28訪問結果

- バイタル
  - 体温: 36.3 (2/28 15:06)
  - 血圧: 129/66 (2/28 15:06)
  - 脈拍: 94 (2/28 15:06)
  - SpO<sub>2</sub>: 97 (2/28 15:06)
- 患者の状態
  - ①昨日倦怠感、熱感あり。葛根湯で良くなった。
  - ②胃ろう周囲にちょっと濡れることがある、ティッシュのこよりを巻いていて対応できている。
  - ③3月5日に消化器科受診予定。今後の胃ろう予定も確認して行く。循環器は今後も通院予定。
- 便秘、2/22から、少し下りてきたみたいなのでもう少し頑張ってみようとのこと

●特記事項  
○紹介状を書く

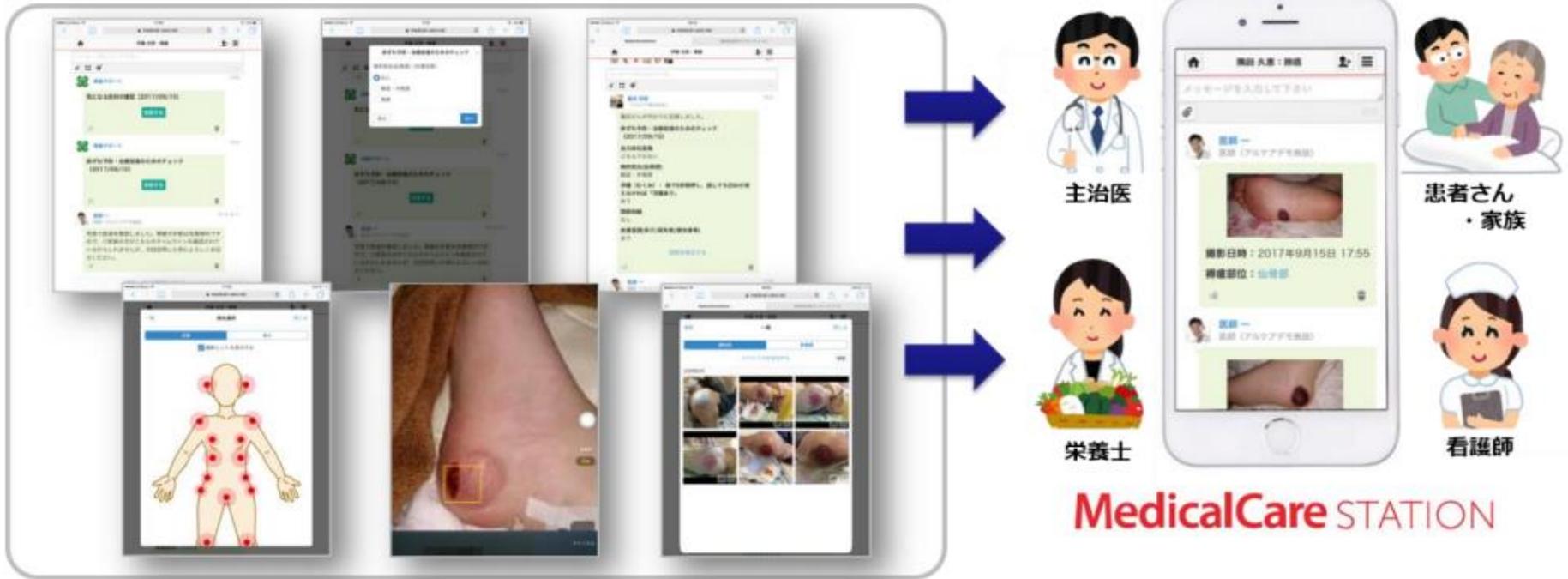
詳細を確認する  
- ([https://www.lavita.ne.jp/member/doc0011s?document\\_id=5555&patient\\_id=182&return\\_id=dat0001s](https://www.lavita.ne.jp/member/doc0011s?document_id=5555&patient_id=182&return_id=dat0001s))

診療記録書

| 氏名              | テスト 太郎   | 様  | 生年月日             | 昭和16年03月14日生 (76歳11ヶ月)         |
|-----------------|--|----|------------------|--------------------------------|
| 要介護             |  | 保険 | 訪問日時             | 平成30年02月28日 15:00~15:15        |
| 体温              | 36.3℃  |    | 血圧               | 129/66 mmHg (2018/02/28 15:06) |
| 脈拍              | 94 bpm   |    | SpO <sub>2</sub> | 97% (2018/02/28 15:06)         |
| 体重              |  |    | グルコース            |                                |
| 好中球             |  |    | リンパ球             |                                |
| 血小板             |  |    | 好酸球              |                                |
| 好塩基球            |  |    | CRP              |                                |
| 訪問理由            | 定期   |    | 発行日              | 平成30年02月28日                    |
| 情報ラベル           | 無し   |    | 次回訪問予定           |                                |
| 患者様の状態          | ①一昨日倦怠感、熱感あり。葛根湯で良くなった。<br>②胃ろう周囲にちょっと濡れることがある、ティッシュのこよりを巻いていて対応できている。<br>③3月5日に消化器科受診予定。今後の胃ろう予定も確認して行く。循環器は今後も通院予定。<br>④便秘、2/22から、少し下りてきたみたいなのでもう少し頑張ってみようとのこと |    |                  |                                |
| 看護・リハビリテーションの内容 |  |    |                  |                                |

# MCS連携褥瘡ケアサポートアプリ

**ALCARE** アルケア株式会社提供



患者さんや医療者によるアプリへの入力内容は、メディカルケアステーションへ送信され医療関係者・患者・家族で「シェア」される。

- 体調管理質問⇒共有 ……褥瘡に関する質問に回答、適切な情報提供
- 教育コンテンツ共有 ……教育コンテンツを投稿し家族や多職種と共有
- 褥瘡写真管理機能 ……ガイドに沿って褥瘡写真を部位別に整理可能

# 多職種連携SNSと連動した服薬適正化支援アプリ



すべての薬剤は患者さんのために



ロシュグループ



# FRAMEWORK

治療とケアを変革する  
ヘルスケアアプリ開発フレームワークが  
これからの医療システム開発を変えていきます。

## 医療アプリ 構築支援サービス

医療関連アプリの企画・開発から  
パイロットの実施・データ検証と  
リリース後の運用までを  
トータルにカバー



医療専用のアプリ開発フレームワーク  
**MCS App Framework**や  
医療アプリ構築支援サービスにより  
これからも、新たなアプリケーションが  
次々と開発されることに大きな期待

# 平成30年度以降の事業予定



## ○多職種ネットワーク+在宅医等相互支援体制構築事業

- ・多職種連携の会・・・包括圏域ごと  
全体会  
事例検討会

- ・ICT化促進・・・端末/通信費の補助

## ○後方支援病床確保事業

## ○リハビリ連携

## ○在宅医療促進に向けた区民公開講座

**MCS**を用いた連携や  
情報共有を基盤として  
システムを作っていく

# まだまだ問題は山積み



- 病診連携の推進、円滑な入退院支援
- 在宅医をサポートする仕組み
- 専門チーム(嚥下、緩和ケア、褥瘡など)の構築と連携
- 地域連携(CSW、民生員、ボランティア、地域住民など)
- 防災対策
- 救急対応(円滑な情報提供、救急車出動を減らす取組)

それぞれが作ったアプリ、システム、ノウハウを  
全体で共有し、その地域に必要なものだけを  
カスタマイズする⇒地域包括ケアシステム構築